



Fig. 2. A costal landscape of the Cape Muroto.

室戸岬最南端部の岩はことごとく東に約 30° ほど傾いている。よく潮の干いた時に沖の岩に渡り、潮だまりを探して水をかき出し、丹念に観察すると、アミモヨウ、アミハ、タマゴバロニア、カシラザキなど、比較的深所に生育する海藻を採集することができる。

室戸岬で採集することの出来た主な種類を次に示す。

緑藻類：ヒトエグサ、ボタンアオサ、ボウアオノリ、ウスバアオノリ、オオンオグサ、フトジュズモ、ホソジュズモ、マルアミハ、アミモヨウ、ミドリゲ、アオモグサ、オオバロニア、タマゴバロニア、キッコウグサ、タカツキヅタ、スリコギヅタ、ヒメイワヅタ、フサイワヅタ、イトゲノマユハキ、ヒカリミル、タマミル、モツレミル、クサビガタハウチワ、ツユノイトの1種、ウミノタマの1種。

褐藻類：イソハンモン、カシラザキ、アミジグサ、サナダグサ、フクリンアミジ、シワヤハズ、ヘラヤハズ、シマオオギ、ウミウチワ、シワノカワ、ネバリモ、イロロ、カヤモノリ、フクロノリ、カゴメノリ、ハバノリ、ヤツマタモク、ネジモク、タマナンモク、イソモク、トゲモク。

紅藻類：ウシケノリ、フノリウシゲ、ホシノイト、オニアマノリ、マルバアマノリ、カモガシラノリ、ニセフサノリ、ソデガラミ、ガラガラ、ヒラガラガラ、タマイタダキ、ヒメテングサ、ハイテングサ、オニクサ、マクサ、ヒラクサ、オバクサ、ホソバナミノハナ、ナミノハナ、エツキイワノカワ、イシノハナ、ヒライボ、ウスカワカニノテ、フサカニノテ、ヘリトリカニノテ、ピリヒバ、タマモサズキ、フイリグサ、ムカデノリ、ヒラムカデ、タンパノリ、ツルツル、マタボウ、

キントキ、マツノリ、トサカマツ、ヒトツマツ、ハナフノリ、フクロフノリ、マフノリ、クロトサカモドキ、ベニスナゴ、トゲキリンサイ、トサカノリ、キクトサカ、ユカリ、カギイバラノリ、イバラノリ、イソダンツウ、カバノリ、サイミ、フササイミ、カイノリ、スギノリ、イボツノマタ、フツツナギ、コスジフツツナギ、ワツナギソウ、キスイトグサ、ランゲリア、カザシグサ、キスイトカザシ、ケイギス、フトイギス、トゲイギス、アヤニシキ、キブリイトグサ、エンドウイトグサ、ユナ、モツレユナ、クロソゾ、ミツデソゾ、コブソゾ、ソゾノハナ、ジャバラノリ。

室戸岬は俗に台風銀座とも言われる。台風シーズンでなくとも強い風が吹く日が多く、海が少しでも荒れるとこの一帯での採集は困難になる。また風速 25 m をこえると室戸岬と甲ノ浦間の道路は通行止めになることがあると言う。甲ノ浦は室戸岬に比べると波の穏やかなところであり、海藻の植生も室戸岬とはずい分と異なる。興味あることに甲ノ浦周辺の潮間帯中部にごく普通に生育するインゲ、ウミトラノオ、ヒジキは、室戸岬で相当に丹念に探したが見つかることが出来なかった。

交通 高知市から室戸岬方面へのバスは、国鉄高知駅から徒歩約5分、はりまや橋近くの堺町バス停留所から出る。堺町から牟岐行急行バスで室戸岬まで1時間半、国鉄牟岐駅から室戸岬までも急行バスで同じく1時間半かかる。室戸岬のバス停留所は中岡慎太郎の銅像前にある。バス停留所の周辺に5軒の旅館がある。

(東邦大学・理・生物)